



研究テーマ

精神障害をもつ人の共同意思決定に関する研究

キーワード：精神障害、共同意思決定

領域・氏名

[看護（老年看護学）助教 / 福添純子](#)

概要

医療の現場では、治療やケアの選択肢が拡大したことによって、難しい意思決定場面に直面する機会が増えています。そのため、主体的な意思決定が困難となる個人・環境的要因の多い、精神障害をもつ人の意思決定を支える支援として、共同意思決定の研究に取り組んでいます。

具体的な内容

精神医療では、症状や障害が続いていたとしても充実した人生を生きていく、パーソナル・リカバリーが重視され、精神保健福祉施策の改革が進められています。長期入院患者の増加や再入院率の高さが報告されています。地域移行期の精神障害をもつ人に対する、患者と医療者が共同で最善の決定を下すための、対話による合意形成のプロセスである共同意思決定の実践内容は、患者が主体的に意思決定できる力を強めるプロセスを踏みながら進み、地域移行や地域生活定着を含めた重要なパーソナル・リカバリー支援であることが明らかとなりました。今後は、年々増加する認知機能に障害をもつ高齢者の、その人らしさを尊重する意思決定支援についても、研究を進めていきたいと思っています。

information

リエゾン精神看護専門看護師として、地域住民、様々な職種の方々へのメンタルヘルスの支援活動を行いたいと考えています。